

期間 28年 11月11日(金)～12月9日(金) [全5回]

応募締切

10月28日(金)

実施
場所九州国際大学地域連携センター(サテライト・キャンパス)
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階(42ページ地図参照)申込・
問合せ先

九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間

18:00～20:00

定員

30名

受講料

4,000円

講座概要

実施機関：九州国際大学地域連携センター

35年間に及ぶ日本の植民統治から解放された朝鮮半島には、混乱と焦燥のなかで大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が誕生しました。その後、東西冷戦の狭間で勃発した朝鮮戦争。冷戦体制が崩壊して久しい今日においても尚、大国の思惑に翻弄されながら停戦状態が続いています。

5千万人を超える人口を抱え、世界で11番目の経済規模を誇る韓国と、これに対峙する北朝鮮。その格差はもはや統一が不可能と思えるほどに拡大しています。

本講座では韓国の現代史を映し出す名作ドラマを交えながら、驚異的な経済成長を遂げ、劇的に変化する現代韓国の光と影を解き明かします。

月 日	テーマ・内容	担当講師
11月11日 (金)	米ソの思惑と「大韓民国」の成立 日本の敗戦と共に植民地の頸木(くびき)から解放された朝鮮半島では、1948年に大韓民国(8月)と朝鮮民主主義人民共和国(9月)が誕生しました。列強による信託統治への反発と混乱、派閥対立と李承晩政権の誕生。そして金日成率いる北朝鮮勢力の台頭など、朝鮮戦争勃発に至る韓国の政治状況を解説します。	九州国際大学 教授 森脇 喜一
11月18日 (金)	朝鮮戦争と南北分断 1950年6月、北朝鮮軍の南下によって朝鮮戦争が勃発しました。米国中心の国連軍や中国義勇軍が参戦するなかで、戦いは凄惨を極め、休戦協定締結後、停戦ライン(北緯38度線)を境に朝鮮半島が分断されることになりました。その後、韓国は最貧国から抜け出せぬまま1960年4月、学生デモによって李承晩政権が崩壊しました。映像を交えながら、こうした時代状況を解説します。	
11月25日 (金)	日韓国交正常化と永松(望月)カズ 軍事クーデターによって誕生した朴正熙政権は、日本との国交正常化やベトナム戦争参戦を礎にして経済成長戦略に邁進。「漢江の奇跡」と呼ばれる驚異的な経済成長を成し遂げました。反日感情冷めやらぬ時代状況の中で篤志家・永松カズが果たした役割を中心に、日韓関係再構築の背景とその意義について解説します。	
12月2日 (金)	「野生の現代」、「知性の三星」 韓国の経済成長をけん引した「現代」と「三星」に焦点を当て、80年代の財閥企業と軍人出身歴代政権との関係。不透明な企業経営と韓国財閥特有の世界戦略。1997年の通貨危機を経てグローバル化を達成した二大財閥を中心に、韓国企業の経営の特徴と国際戦略を紐解きます。	
12月9日 (金)	韓国の「世界化戦略」と日韓関係 金大中政権の誕生は日韓文化交流を飛躍的に発展させ、韓流ブームをけん引しました。文化コンテンツを世界に拡散し、「made in Korea」の輸出に繋げる戦略は、K-POP人気を通じて日本の若者世代にも浸透しつつあります。過去を引きずる課題が表面化する日韓関係にあって、わずかに二百余キロに隣接する「隣人・隣国関係」はどうあるべきかを共に考えます。	